

第26回総会と講演会のお知らせ



○期日 2019年 5月25日 (土)

○会場 日本女子大学目白キャンパス
新泉山館1階大会議室



<第1部> 総会 受付開始 12時30分より (会員のみ)
総会 13時00分~13時50分
<第2部> 講演会 受付開始 13時50分より (どなたでも入場可)
講演会 14時00分~16時00分 (質疑・応答有)
(早くお着きの方は総会会場の後部座席でお待ちいただけます)

○演題 「教育の三綱領とインターネットの活用」
~教育の理念を重視した、モチベーションを高める授業改善~

○講師 松月弘恵先生 (新32食・院33児童学専攻)
日本女子大学食物学科教授

「食物学科の出身者が、なぜ動機づけ理論を学ぶのですか？」

今までに何度もこの質問を受けました。

しかし、動機づけなくして「教えられる授業から、考える授業への改善」は困難です。

私は現在、食物学科のフードサービスの実習を、インターネットを活用して行っています。

しかし、その成功の秘訣は、理念としての「教育の三綱領」の実践であり、

インターネットはその手段として活用しているのにすぎません。

教育の理念と、動機づけ、そしてインターネットの関連とその実践例から、

新たなアイデアが生まれるかもしれません。

総会・講演会の出欠は同封のハガキにて5月12日までにお知らせください。

<連絡先> 工藤加寿子(新22) Tel/Fax 03-3429-5451

✉ j.tatenokai@gmail.com

http://www.tatenokai.org



松月弘恵先生・プロフィール 家政学部食物学科教授（担当：給食経営管理論）
家政学部 食物学科 食物学専攻 新制 32 回生、大学院家政学研究科児童学専攻 院 33 回生。
大学病院勤務等を経た後、宮本美紗子先生に師事し、修士論文は「重症例肥満児の減量への
動機づけ」に取り組む。前任校神奈川工科大学時代から、LMS: manaba (クラウド型学習支
援システム) を活用した授業改善を始めた。日本女子大では 2017 年の manaba 導入時から
講義・実習・学外実習に積極的に活用し、学生からの年間アクセス数は 12 万件を超えてい
る。

※「新泉山館」への行き方：

目白駅よりスクールバス日本女子大学下車、歩道橋を渡り左側（椿山荘側）に降りた先。

